

(別紙様式3) **令和6年度学校評価学校関係者評価報告**

学校名 [京丹後市立丹後小学校]

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度学校経営の重点(短期経営目標)	
教育目標(丹後学園共通) 「夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、未来に向けて主体的に生きる子どもの育成」 <目指す学校像> 1 よく考え学ぶ学校 2 友だちと仲良くする学校 3 最後まで粘り強く努力する学校 4 家庭・地域のつながりを生かした学校		○研究推進部を中心に、全学年での研究授業・校内研修会を行うなど授業改善に向けて全教職員で取り組めた。 ○授業に生かす ICT 機器の有効な使い方の研究や、オンラインによるタブレットの持ち帰り学習の充実が図れた。 △特別支援教育部を中心に通常学級含めた支援を要する児童への支援に努めてきたが、引き続き組織的に取り組む必要がある。 △教育相談部を中心に不登校の未然防止や解消に努力を重ねてきたが、引き続き組織的に取り組む必要がある。		・再配置6年目となる丹後小学校が、安定した学校運営ができるように教職員全員でベクトルを合わせて取り組む。 ・一方的に「させる」のではなく、子どもたち、自らが作り上げるようにするために、「支える」指導を大切に ・「探究的な学び」や ICT を効果的に活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図る。	
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)	学校関係者評価	
学校教育指導の重点、保幼小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等に基づいて	教育課程 学習指導	・丹後学園研究テーマである「子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり～教師主導から子ども主体へ～」のもと、確かな学力の育成を図る。 ・「学び合い」を通して、「わかる」「できる」を実感させ、「深い学び」につながる授業づくりを進める。	・「自ら学び、認め合い、高め合う児童の育成」を目指して、教科の指導と生徒指導が一体化させた授業づくりを進める。 ・「探究的な学び」の充実を図るため、校内研修・研究授業等を効果的に実施する。 ・ICT を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。 ・学力充実部を中心に、家庭学習の見直しを図り、確かな学力の育成を目指す。	○研究推進部を中心に、「探究的な学び」の推進に力を入れた。全学年で研究授業を行うなど、確かな学力の育成に向けて全教職員で取り組めた。 ○ICT を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図った。 △引き続き、確かな学力の育成に向けて取組を推進する。	・全体として、学校が大変落ち着いている。 ・授業が以前と全然違ってきている。講義型でなく、それぞれの子どもたちが色々な取組方をしている。先生方も大変だと思う。
	生徒指導	・生徒指導の実践上の4つの視点を踏まえた、就学前から中学校まで一貫した生徒指導を進める。 ・不登校、いじめの未然防止及び解消にむけた教育相談活動を充実させる。	・教師が児童の良さを、また児童同士がお互いの良さを学級活動や多様な異年齢集団での活動の中で、意識して伝えることで自己肯定感を高め、明るく積極的な態度を促進させる。 ・いじめ防止に向けて、生徒指導部を中心にアンテナを高くはり、情報を共有する中で、組織的に取組を進める。 ・不登校の解消・未然防止のために、教育相談部を中心に丁寧なアセスメントや個に応じた支援を組織的にチームで行う。	○「安心・安全な学校づくり」を大切に、一方的に「させる」のではなく、子どもたち自らが作り上げるようにするために、「支える」ことを大切にする指導を全教職員で進めた。 △教育相談部と生徒指導部を中心に不登校やいじめの未然防止等に努力を重ねてきたが、引き続き組織的に取り組む必要がある。	・先生方ばかりに教育を任せすぎていると思う。もっと家庭で保護者がしつけなどを含めてしっかりと子どもと向き合うべきだと思う。

健康（体育）・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・全校的な体力にかかわる取組の充実と積極的な児童への指導を行い、学校を休まない強い体をつくる。 ・困難なことにも粘り強く挑戦していこうとする態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会やマラソン大会、大縄大会等の行事と絡めながら期間を決め、体育の授業と連動させるなど、計画的に体力向上の取組を全校で実施する。 ・体力テストの分析を行い、指導に生かす。 ・学級、学校での取組において個々のめざす目標を発達段階に応じて明確にしなが、ねばり強く挑戦する態度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動会やマラソン大会、小学校駅伝大会、大縄発表会等を実施することができ、児童の力をつける取組になった。 ○「保健だより」、「給食室だより」、HP等を活用して、情報発信に心がけ、家庭との連携を図った。 ○自転車教室を実施し、安全の意識を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な取組が実施でき、充実した取組になって良かった。 ・放課後など、交通面で危ないと思うところも時々ある。
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの安全（生活・交通・災害）を大切にし、安心して安全な学校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の立ち番、にこにこカーの運行、学校支援ボランティアとの連携等により安全な登下校につなげる。 ・交通安全教室の充実や警察等との連携を含めた安全指導の徹底を図る。 ・校内の危険箇所点検を行い、適宜、修繕などを行うことで教育環境を整える。 ・感染症の予防対策を徹底し、児童が安心して学校生活を送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登下校時等に、学校支援ボランティアとの連携や立ち番、挨拶・登校指導等を行う事により、交通事故の発生等を抑えることができた。 ○危険箇所、登下校の安全に関わる指導は、教職員で共有化し全校集会、学級内で指導を行い、けが防止につなげた。 △校内の危険個所の点検を行い修繕に努めたが、塩害による施設の劣化が激しく、修繕が追い付かない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の挨拶は、よくしてくれる所と全然してくれない所の差がある。 ・今後も地域と学校が色々な所で連携していければよい。 ・もっと子どもたちとも色々な話が出来たら良いと思う。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で分かりやすいタイムリーな情報発信を行う。 ・PTA・地域の関係諸機関等と連携した取組を強化する。 ・地域の人材、学校支援ボランティア等、外部人材の積極的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、学級通信、ホームページ等により学校の取組や様子をタイムリーに積極的に発信する。 ・PTAをはじめ関係諸機関等との連絡を密に取り、協力を得る。 ・地域の人材、学校支援ボランティア等、外部人材の積極的な活用を図り、教育活動の活性化と充実を図る。 ・読み聞かせボランティア・図書館指導員により、読書への興味を高め本好きな児童を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校便り、学級通信、ホームページの発信等により学校の取組や様子をタイムリーに発信する事ができた。 ○PTA本部を中心に、PTA活動を大変積極的に行っていただき、会員や児童にとっても有意義であった。 ○学校支援ボランティア等、地域人材を積極的に活用し、学習効果をあげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとして楽しく活動ができた。「継続は力なり」で、今後も子どもたちと積極的にかかわっていきたい。 ・今後も地域の一員として、色々な場面で見守っていきたい。
次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「安心・安全な学級・学校づくり」を大切にす。 ・「自ら学び、認め合い、高め合う児童の育成」を目指して、教科の指導と生徒指導が一体化させた授業づくりを更に進める。 ・「探究的な学び」やICTを効果的に活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の更なる充実を図る。 			